

文教福祉常任委員会

(令和6年7月16日)

文教福祉常任委員会

午前10時03分 開会

○福森真司委員長 ただいまから、文教福祉常任委員会を開会します。

本日の会議はタブレット端末に掲載した日程により進めさせていただきます。

それでは、2、協議事項の（1）安心して子育てできる環境づくりに向けた政策提言についてを議題とさせていただきます。

まず、所管事務調査のレポートを皆様から御提出いただきましてありがとうございます。つきましては、正・副委員長におきまして確認させていただいた上で、政策提言の具体的な検討項目を少し修正したいというふうに考えております。

それでは、資料1の1ページ目を御覧ください。

今まででございますけれども、多世代交流の拠点づくりと子育てしながら働ける環境づくりの2点で、それぞれ調査・研究していくこととしておりましたが、子育てしながら働ける環境づくりにつきましては、テーマが非常に大きくなってしまいうところもあり、研究範囲が広くなるところもありますから、まとまらないというところが正・副委員長でやって感じたところでもございます。

そこで、まず1つ目の多世代交流の拠点づくりの調査・研究していく中で、2つ目の子育てしながら働ける環境づくりに関する視点も含めて調査・研究していくほうがよいのではないかとというふうに、正・副委員長でまとめたところでもございます。

そのため、具体的検討項目といたしましては、多世代交流の拠点づくりの1つとさせていただきますというふうに思っております。

次に、政策提言を進めていくに当たりまして、政策提言とはなんぞやというところを、皆様と共通認識を持って進めていきたいというふうに考えております。

それにつきましては、議会局書記より説明をしていただければと思いますのでお願いいたします。

議会局書記。

○議会局書記 それでは、先日、議会局で政策提言の勉強会のほうをさせていただいた際に伺ったところのお話をちょっとさせていただければと思います。議会の役割としては、施策の提案をしていくことで、事業改善等の提案につきましては執行部が行うことが適切であるということを伺いました。

また、マイナスからゼロにする対策、例えば福祉の増進のように、市民が不安に思っていることを取り除くようなものも大切なんですけど、プラス要因を作る政策、どうしたら秦野市に居続けてもらえるのか、どうしたら人口増につながるのか、そういうことを考えていくことが議会に求められている役割だということでした。

さらに、政策提言をする際に、本市における問題点を確認して課題設定するだけで

はなく、しっかりと本市の現在地、本市の現状を分析し、把握した上で、目的地であるゴールに向かうことがとても大切だということを学びましたので、皆様にも本市の現状を把握した上で、政策提言の協議をしていただきたいと、そのように考えております。

以上です。

○福森真司委員長　ありがとうございます。

今、議会局から説明いただきましたとおり、今日の委員会につきましては、子育てに係る本市の現状について様々な視点から皆様と協議できたらというふうに思います。

まず、現状を確認する際の指標といたしまして、総合計画を用いたいというふうに思います。

資料１の説明につきまして、議会局からお願いします。

議会局書記。

○議会局書記　資料１の３ページ目を御覧ください。

こちらは、総合計画の中で今回の政策提言に関連すると考えられる箇所を抜粋したものとなります。真ん中の第３章と記載ある箇所が基本政策で、その右にある３つが基本施策となりますが、今回はこの３つの基本施策のうち、上の２つが大きく関わってくるものと考えております。

次に、４ページ目を御覧ください。

４ページ目には基本政策とその実現に向けて本市が目指す方向性を、次５ページ目及び６ページ目には、基本政策を実現するための基本施策と、目指すまちの姿、そしてＫＰＩと言われるその施策に関する評価指標を記載しております。

そして７ページ目、こちらに関しましては政策提言の再確認ということで、今、御説明させていただきました基本施策に記載されているまちの姿を目指すべく、文教福祉常任委員会として、今回は多世代交流の拠点づくりについて提言していくという流れになります。

続きまして８ページ目を御覧ください。

多世代交流の拠点と言っても、どういうものを考えていくかということがあると思うのですが、そちらに関しましては所管事務調査の振り返りを踏まえ、考えていきたいと思います。皆様からいただいた所管事務調査のレポートを拝見させていただくと、考えは大きく分けて２つあると考えておりまして、駅前施設を作り、にぎわいにつなげていくという考えと、既存施設を活用して拠点を作っていくという考えだと思います。しかし、どちらも１施設１機能ではなく、複合機能を持たせた拠点作りが必要ということとは皆様共通しておりましたので、この点は忘れずに協議していくべきと考えております。

それで、次９ページ以降になりますが、こちらは先ほど委員長よりお話ありましたが、まずは本市の現状、現在地について皆様の御意見を伺えればと思います。赤枠内に

いろいろと記載しておりますが、これらの各視点で考えていくのではなく、委員会の政策提言では、これらの複数の視点から本市の現状を分析し、把握した上で1つのゴールに向かって目指していく必要がございます。

10ページ目及び11ページ目にも記載しておりますが、総合計画の中で目指すまちの姿はこのように示されております。矢印の下にありますように、この点について皆様で御協議いただきたいと思います。

以上です。

○福森真司委員長 ありがとうございます。ちょっと駆け足で御説明しましたけれども、まず、本市の現状について、皆様にも御認識いただきたいなというところがございますので、これから協議するに当たりまして、議会局と一緒に市の統計資料ですとか国の資料、意識調査の中で、関連した項目を別紙1のとおり作成してもらってます。

なかなかこれを今すぐ見て、お答えするのは難しいところかと思うんです。

そもそも総合計画の中に示されていないと、ゼロから作り上げていくのは、委員会ではなかなか難しいと。当然予算もありますので。総合計画の中であるもののなかにも、やっぱりできるようなところと市がやろうとしているところを後押しできるような形に持っていければなというところはあるんですが、まずは、その現状、秦野市がどういう状況なのかというところを皆様に御理解いただきながら、御意見をいただければというふうに思います。

暫時休憩します。

午前10時12分 休憩

午前10時37分 再開

○福森真司委員長 再開します。

今、皆様から御意見をいただきました。御意見をいただいた中で、なんとなくですけど、方向性も見えてきた中で、総合計画との整合性もとりながら進めていきたいなというふうに思います。また、何よりも、秦野に住んでよかった、また移住定住にもつながるような形にしたいというふうに思いますので、今、議会局のほうにもお願いをして、各課が行いました資料、アンケートの資料等もこれから添付していくようにいたしますので、それを踏まえた中で、今月末ぐらいまでに皆さんの御意見を少しずつでも結構でございますので、いただきましたら、その後、次回、8月19日に予定させていただきたいと思います。議員連絡会終了後でございます。

それまでに、正・副委員長で少しまとめさせていただきながら、ここで御報告できればというふうに思います。このときでも結構でございますので、皆さん御意見をいただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

あと、その他でございます。皆さん何かございますでしょうか。

中村委員。

○中村知也委員 会派で視察に行かさせていただいたんです。北海道だったんですけど、すごくなにか寄附文化がすごくて、子供の施設で寄附が3,000万円ぐらい集まっちゃうっていう話で、そういうのをうまく取り入れたらすごいのかなっていうのはなんかすごかったです。遊具なんか全部寄附で集まったということで。

以上です。

○福森真司委員長 それでは、今後、議会報告会についても協議していきなさいけないんですけども、相手先について、また皆様から御意見いただけたらと思うんですが、政策提言につながるところがいいかなと私は個人的に思うところがございますけど、また皆さんの御意見をいただけたらと思いますのでよろしくお願いします。

それでは、以上で文教福祉常任委員会を終了いたします。

午前10時39分 閉会

文教福祉常任委員会委員長